

令和7年度
(2025年度)

横浜国立大学
大学院先進実践学環
(修士課程)

学生募集要項

一般選抜及び特別選抜

女子特別選抜

<https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

先進実践学環入試日程の概要

入学資格審査 申請期間	令和6年5月15日(水)～令和6年5月16日(木) 【申請は該当者のみ】
入学資格審査 結果通知発送日	令和6年5月21日(火)

※入学資格審査の対象は、出願資格(5)の2、及び(8)に該当する者のみです。

出願期間	令和6年6月3日(月)～令和6年6月7日(金)
------	-------------------------

特別選抜・女子特別選抜 (口述試験等)	令和6年7月7日(日)
合格者発表日	令和6年7月16日(火)

一般選抜 (筆記試験及び口述試験等)	理工学府	令和6年8月21日(水)、22日(木)	
	環境情報学府	令和6年8月21日(水)、22日(木)	
	都市イノベーション学府	令和6年8月21日(水)、22日(木)	
	国際社会科学府	経済学専攻	令和6年9月10日(火)
		経営学専攻	第1次選抜 令和6年8月26日(月) 第2次選抜 令和6年9月6日(金)※ ※第2次選抜は、第1次選抜合格者に対して行います。
国際経済法学専攻		令和6年9月3日(火)	
合格者発表日	令和6年9月30日(月)		

【注意】

先進実践学環の一般選抜は、本学学府(国際社会科学府・理工学府・環境情報学府・都市イノベーション学府)の入試と密に連携して実施されます。

入学手続期間	令和7年3月10日(月)～令和7年3月14日(金)
--------	---------------------------

－ ChatGPT をはじめとする生成AI の利用について －

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成AI に対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて、各国・地域の方針・法令等も踏まえるようお願いします。

注意事項

生成AI に入力した情報は、AI の学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学大学院の「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

(目次)

I 一般選抜、特別選抜、女子特別選抜学生募集要項	3
1. 募集人員及び募集する研究テーマ	3
2. 出願資格	4
3. 選抜方法	7
4. 出願手続	9
5. 合格者発表	13
6. 入学手続	13
7. 一般選抜の試験概要	14
8. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	20
9. 入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度について	20
10. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について	20
11. 個人情報の取扱いについて	21
12. 安全保障輸出管理について	21
13. 不測の事態が生じた場合における措置について	22
14. その他注意事項	22
II 先進実践学環学位プログラムのカリキュラム	23
III 先進実践学環の指導教員一覧	24
○ 入学検定料支払方法のご案内	33
○ キャンパス案内図	34

I 一般選抜、特別選抜、女子特別選抜学生募集要項

令和7年度（2025年度）横浜国立大学大学院先進実践学環（修士課程）の学生を次の要領によって募集します。

なお、国際社会科学府・理工学府・環境情報学府・都市イノベーション学府に入学を希望する者は、別途当該学府の学生募集要項を取り寄せて出願する必要があります。

1. 募集する研究テーマ及び募集人員

（令和7年度（2025年度）4月入学）

先進実践学環の 研究テーマ	指導教員が担当する学府・専攻										募集人員				
	国際社会科学府			理工学府			環境情報学府			都市イノベーション学府		一般選抜（一般学生枠）	特別選抜（一般学生枠）	女子特別選抜（女子学生枠）	合計
	経済学専攻	経営学専攻	国際経済法学専攻	機械・材料・海洋系工学専攻	化学・生命系理工学専攻	数物・電子情報系理工学専攻	人工環境専攻	自然環境専攻	情報環境専攻	建築都市文化専攻	都市地域社会専攻				
応用AI		○		○		○			○			39	募集しない	42	
社会データサイエンス	○	○	○				○		○						
リスク共生学			○	○			○	○	○						
国際ガバナンス			○	○			○			○					
成熟社会	○		○				○			○					
人間力創生										○	○				
横浜アーバニスト		○								○					
集積エレクトロニクスと社会展開		○		○		○					3				

注1：上記の丸印（○または●）が付いている研究テーマから、入学後の指導を希望する教員（以下「志望指導教員」という。）を選んで願書に記入してください。各研究テーマの教員については「Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧」を参照してください。

注2：上記の太丸印（●）が付いている研究テーマで、「Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧」に「★」もしくは「☆」印を付してある教員は、先進実践学環に出願する者のみ志望指導教員とすることができます。本学の環境情報学府、都市イノベーション学府に別途出願する際には指導教員として志望することはできません。

注3：複数の研究テーマ、教員に出願することはできません。

注4：志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取ってから出願してください。

注5：研究テーマによっては、選抜の結果、指導教員の選択は志願者の希望に添えない場合があります。

注6：募集人員には、特別選抜の合格者を含みます。

注7：女子特別選抜（女子学生枠）には、戸籍上の性別が「女性」である者のみ出願できます。

研究テーマ「集積エレクトロニクスと社会展開」では集積エレクトロニクスに関連する分野への女性の進学率を向上させて教育研究環境における属性の多様性を確保し、最終的に同分野における女性の専門家やリーダー等のグローバル人材、博士課程後期への進学者の増加を目指すために、女子学生枠を設け女子特別選抜を実施します。

注8：一般選抜（一般学生枠）及び特別選抜（一般学生枠）には性別に関係なく出願できます。

2. 出願資格

次の各項の選抜ごとに定めている基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

【1】一般選抜（一般学生枠）

[基礎資格]

次にあげる各項の一つに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または当学環入学の前までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者または当学環入学の前までに学士の学位を取得見込みの者【(注1) 参照】
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (5)の2 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または当学環入学の前までに学士の学位に相当する学位を取得する見込みの者【(注2) 参照】
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上あることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者または当学環入学の前までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 当学環において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、当学環入学の前までに22歳に達するもの【(注2) 参照】

[要件]

国際社会科学府経済学専攻の教員を志望指導教員とする外国人の出願者は、日本語能力試験のN1またはN2に合格した者。なお、基礎資格(1)により出願する者については、日本語能力試験の結果を提出する必要はありません。ただし、当該大学での教育が日本語で行われた場合に限りです。

【2】特別選抜（一般学生枠）

[基礎資格]

次にあげる各項の一つに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を当学環入学の前までに卒業する見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項 1 号の規定（大学改革支援・学位授与機構）により当学環入学の前までに学士の学位を取得する見込みの者【(注 1) 参照】

[要件]

特別選抜に出願できる者は、在籍大学等より推薦された者で、出願の時点で次の要件①②のいずれかに該当し、かつ、合格した場合は入学を確約できる者。加えて、国際社会科学府経済学専攻の教員を志望指導教員とする外国人の出願者は、日本語能力試験の N1 または N2 に合格した者。なお、基礎資格（1）により出願する者については、日本語能力試験の結果を提出する必要はありません。ただし、当該大学での教育が日本語で行われた場合に限りです。

- ① 基礎資格（1）の日本の大学を卒業見込みの者で、在籍大学内の所属学科における 3 年次修了時の成績順位が上位 3 分の 1 以内であること。または、総修得単位に占める評価点 80 点以上の評価が、2 分の 1 以上であること。
- ② 基礎資格（2）の短期大学および高等専門学校に置かれた専攻科を修了する見込みの者で、大学教育の 3 年間に相当する期間※の総修得単位に占める評価点 80 点以上の評価が 2 分の 1 以上であり、入学する月の前月までに大学改革支援・学位授与機構において学士の学位を授与される見込みの者。

※大学教育の 3 年間に相当する期間は、次の期間とします。

・短期大学の専攻科を修了見込みの者：

2 年制の短期大学本科から 2 年制の専攻科へ進学した者は、専攻科 1 年次修了時までの合計 3 年間

3 年制の短期大学本科から 1 年制の専攻科へ進学した者は、短期大学本科卒業までの 3 年間

・高等専門学校の専攻科を修了見込みの者：

高等専門学校本科 4・5 年次（2 年間）及び専攻科 1 年次修了時までの合計 3 年間

※ 女子特別選抜（女子学生枠）との併願不可

【3】女子特別選抜（女子学生枠）

[基礎資格]

次にあげる各項の一つに該当する者が出願できます。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を当学環入学の前までに卒業する見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により当学環入学の前までに学士の学位を取得する見込みの者【(注 1) 参照】

[要件]

女子特別選抜に出願できる者は、次のすべてに該当する者です。

- 1. 戸籍上の性別が「女性」であること
- 2. 集積エレクトロニクスに関連する分野に対する研究を強く希望する者
- 3. 合格した場合は入学を確約できる者

※ 特別選抜（一般学生枠）との併願不可

(注 1) 基礎資格（2）における当学環入学の前までに学士の学位を取得見込みの者とは主に、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定した短期大学および高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、2024 年 10 月までに大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請した者です。

(注2) 基礎資格(5)の2、及び(8)により出願する者については、入学資格審査を行いますので、6ページに記載の書類を先進実践学環係へ提出してください。提出方法は、一般書留、簡易書留または特定記録などの配達状況を確認できる郵便で送付してください。日本国外から郵送する場合は、EMS(国際スピード郵便)等の配達経路を確認できる方法で発送してください。提出先の住所は10ページを参照してください。

申請期間： 令和6年5月15日(水)～令和6年5月16日(木) 【必着】

入学資格審査に必要な本学所定の書式は、当学環のウェブサイトからダウンロードして作成してください。書式の印刷は、全て「A4サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

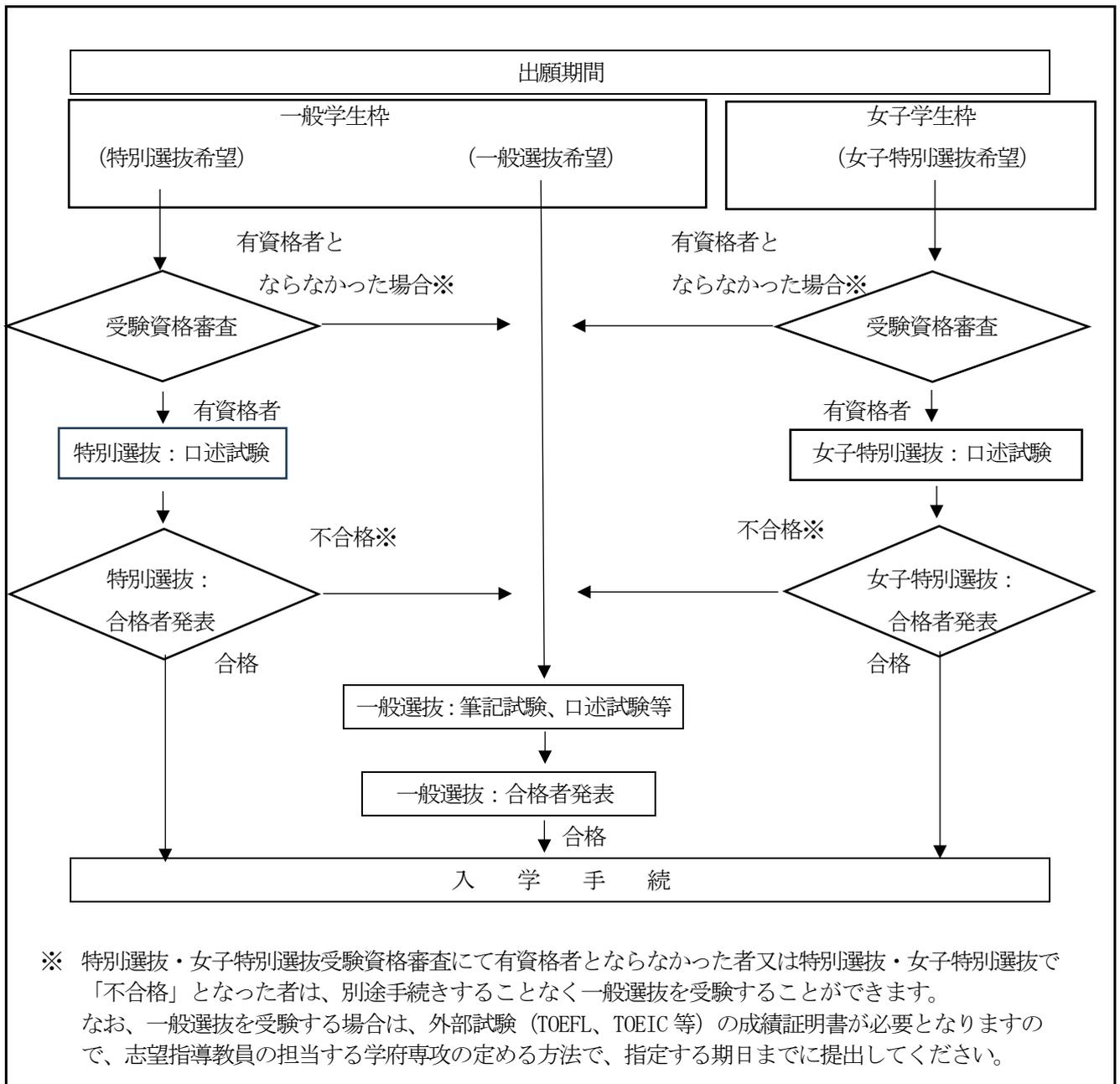
(出願資格(5)の2、及び(8)によって出願を希望とする者が提出する書類)

提出書類	注意事項	書式番号
入学資格審査書類送付内訳書	・提出書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて、封入してください。	A1
入学資格認定申請書・調書		A8
研究業績・実務経験等申告書		A9
研究(希望)計画書	・詳細は、10ページを参照してください。	A4
修学年数調書	・外国人留学生のみ提出してください。	A6
最終学歴の卒業(見込)証明書 または在学期間(見込)証明書	・出身(在籍)大学長または学部長等が作成したものを提出してください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。	—
最終学歴の成績証明書	・出身(在籍)大学長または学部長等が作成したものを提出してください。	—

以上の提出書類に基づき書類審査を行い、審査の結果を令和6年5月21日(火)に電子メールで通知します。資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。

3. 選抜方法

選抜の手順は次の通りです。



【1】一般選抜（一般学生枠）

当学環の一般選抜は、本学学府（国際社会科学府・理工学府・環境情報学府・都市イノベーション学府）の入試と密に連携して実施する筆記試験及び面接又は口述試験、並びに出願書類により総合的に判断して行います。志願者は、志望指導教員が担当する学府の選抜を受験します。

なお、筆記試験・口述試験の実施方法は、学府ごとに異なります。各学府における選抜方法の概要を「7. 一般選抜の試験概要」に記載していますが、必ず、自身の志望指導教員が担当している学府専攻の最新の学生募集要項にて各科目の詳細や受験上の注意事項を確認してください。

- ・筆記試験では、志望指導教員が担当している学府の試験区分（専攻、コース、ユニット、教育プログラム等）により、志望指導教員の下で研究計画を遂行するのに必要な専門知識を問います。
- ・口述試験（面接を含む）（以下「口述試験」という。）では、志望する研究テーマに関する口述試験により、文理融合・異分野融合を志向した研究を行おうとする意欲や、研究計画の妥当性を確認します。

【2】特別選抜（一般学生枠）

志望する研究テーマに関する口述試験（英語による質疑を含む）、出願書類審査による選抜により、能力及び入学後の研究に対する資質を確認し、合格者を決定します。

※ 特別選抜で「不合格」となった者は、別途手続きすることなく一般選抜を受験することができます。

なお、一般選抜を受験する場合は、外部試験（TOEFLやTOEIC等）の成績証明書が必要となりますので、志望指導教員の担当する学府専攻の定める方法で、指定する期日までに提出してください。

【3】女子特別選抜（女子学生枠）

口述試験（口頭試問による数学や基本科目の基礎的な学力チェックを含む）、出願書類審査による選抜により、能力及び入学後の研究に対する資質を確認し、合格者を決定します。

※ 女子特別選抜に出願する者は、特別選抜（一般学生枠）との併願はできません。ただし、女子特別選抜に不合格の場合は、別途手続きすることなく一般選抜（一般学生枠）を受験できるものとします。

なお、一般選抜（一般学生枠）を受験する場合は、外部試験（TOEFL、TOEIC等）の成績証明書が必要となりますので、志望指導教員の担当する学府専攻の定める方法で、指定する期日までに提出してください。

● 選抜の日程

① 一般選抜（一般学生枠）

志望指導教員の担当学府等	試験科目	日 程
理工学府	筆記試験	令和6年8月21日（水） 10時30分～12時30分及び 13時30分～15時30分（※ 先端化学ユニットを除く）
	口述試験	令和6年8月21日（水）、8月22日（木）で指定された日時
環境情報学府	筆記試験	令和6年8月21日（水） 9時30分～11時30分
	口述試験	令和6年8月21日（水）、8月22日（木）で指定された日時
都市イノベーション学府	筆記試験	建築都市文化コース（建築系問題） 令和6年8月21日（水） 9時00分～11時00分及び 12時30分～14時00分 建築都市文化コース（都市文化系問題）、都市地域社会コース（地域社会系問題） 令和6年8月21日（水） 9時00分～11時00分
	口述試験	建築都市文化コース（建築系問題） 令和6年8月22日（木） 14時00分～ 建築都市文化コース（都市文化系問題） 令和6年8月21日（水） 13時00分～ 都市地域社会コース（地域社会系問題） 令和6年8月21日（水） 別途通知

国際社会科学府	経済学専攻	筆記試験	令和6年9月10日(火) 9時00分～11時00分
		口述試験	令和6年9月10日(火) 別途通知 (受験者数によっては、9月11日(水)に口述試験を行う場合があります。)
	経営学専攻	第1次選抜： 筆記試験	令和6年8月26日(月) 10時00分～11時30分
		第2次選抜： 口述試験	令和6年9月6日(金) 10時00分～
	国際経済法学専攻	筆記試験	令和6年9月3日(火) 9時30分～11時30分 (私費外国人留学生の筆記試験は9時30分～10時30分)
		口述試験	令和6年9月3日(火) 別途通知 (受験者によっては口述試験が9月4日(水)となる場合があります。)

試験の実施場所：試験は横浜国立大学構内（横浜市保土ヶ谷区常盤台）で行います。

- ※1 筆記試験の試験室割、口述試験の日程及び集合時間は、当学環のウェブサイトでお知らせします。
- ※2 試験開始時刻に遅れた者は、受験できない場合があります。
- ※3 国際社会科学府経営学専攻の第1次選抜合格者の発表は、令和6年8月30日(金)15時頃、当学環ウェブサイト上に掲載します。
- ※4 国際社会科学府経営学専攻の第2次選抜は、第1次選抜合格者に対して行います。

② 特別選抜（一般学生枠）・女子特別選抜（女子学生枠）

試験科目	日 程
口述試験	令和6年7月7日(日)

試験の実施場所：試験は横浜国立大学構内（横浜市保土ヶ谷区常盤台）で行います。

- ※1 試験開始時刻に遅れた者は、受験できない場合があります。
- ※2 口述試験の日程及び集合時間は、当学環のウェブサイトでお知らせします。

● 注意事項

- ・各選抜所定の筆記試験及び口述試験を1つでも欠席した場合は、合格者とはなりません。
- ・志望指導教員の担当する学府専攻以外の筆記試験及び口述試験を受けることはできません。
- ・当学環と本学学府（国際社会科学府・理工学府・環境情報学府・都市イノベーション学府）の一般選抜は同日に実施されます。当学環と前述4学府に出願することは妨げませんが、それらに出願を希望する場合は、志望指導教員と事前に相談のうえ、別途当該学府の学生募集要項を取り寄せて出願する必要があります。なお、出願したことで試験区分等の相違により前述4学府の受験ができないこともありえますので、この点を念頭に置き、ご自身の責任において出願してください。また、それにより試験を受験できなかった場合においても当学環は責任を負いませんので、ご注意ください。

4. 出願手続

(1) 指導教員との事前相談について

志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取ってから出願してください。 研究テーマによっては、選抜の結果、指導教員の選択は志願者の希望に添えない場合があります。

(2) 出願の手続き

出願する者は、出願書類を角形2号(240mm×332mm)以上の封筒に封入して、封筒表面に宛名ラベル(書式A11)を貼付の上、下記の期間に一般書留、簡易書留または特定記録などの配達状況を確認できる郵便で送付してください。

出願期間	: 令和6年6月3日(月)～令和6年6月7日(金) 【必着】
先進実践学環ウェブサイト	: https://ynuifgs.ynu.ac.jp
提出先	: 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 横浜国立大学大学院 先進実践学環係

※注意事項

- ・ 出願書類の受付は期間内必着とします。
- ・ 出願書類に不備等がある場合や要件を満たしていない場合は、出願を受理しませんので注意してください。
- ・ 日本国外から郵送する場合は、EMS(国際スピード郵便)等の配達経路を確認できる方法で発送してください。
- ・ 出願期間後に到着したものは受理しないので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。
- ・ 土曜日、日曜日、祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

(3) 出願書類

出願に必要な本学所定の書式は、当学環のウェブサイトからダウンロードして作成してください。書式の印刷は、全て「A4サイズ・白色用紙」に「片面印刷」とします。書類を書き損じた場合は、誤った箇所に二重線を引き、余白に正しい内容を記載してください。

先進実践学環ウェブサイト	: https://ynuifgs.ynu.ac.jp
--------------	---

① 一般選抜及び特別選抜(一般学生枠)、女子特別選抜(女子学生枠)に共通の出願書類

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類送付内訳書	・ 出願書類は、この用紙に記載されている通りの順番に並べて封入してください。	A2
入学願書・受験票	・ 縦40mm×横30mm無帽、上半身正面、背景無地、出願前の3ヶ月以内に撮影した写真(2枚)を入学願書及び受験票に貼り付けてください。	A3-1 A3-2
研究(希望)計画書	・ 当学環において研究しようとするテーマ及び具体的内容について、文理融合・異分野融合の達成、Society5.0の構築・維持・発展に資する研究方法や研究の意義を含めて、1,000字以内の日本語で記入してください。	A4
卒業(見込)証明書	・ 出身(在籍)大学長または学部長等が作成したものを提出してください。 ・ 卒業証書の写しをもって代える場合は、出願前に卒業証書原本を窓口(先進実践学環係)に持参して「原本証明済みのコピー」の発行を受け、それを原本の代わりとして提出してください。 ・ 外国の大学を卒業した場合は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出してください。(卒業証明書で、取得学位が確認できるものは不要とする) ・ 日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。	—

学士の学位授与（申請受理・申請予定）証明書（該当者のみ）	大学改革支援・学位授与機構、在籍する学校長等が日本語又は英語で作成したもの。（卒業証明書で、取得学位が確認できるものは不要とする）	—
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身（在籍）大学長または学部長等が作成したものを提出してください。 日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を添付してください。 編入学等により認定されている科目がある場合又は短期大学及び高等専門学校の専攻科に進学した場合は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科）の成績証明書を併せて提出してください。 	—
入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> 手続きの詳細は、12 ページ（4）入学検定料及び「横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。 	A 5
外部試験の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 外部試験（TOEFL、TOEIC 等）の成績証明書は、志望指導教員の担当する学府専攻の定める方法で、指定の期日までに提出してください。 なお、成績証明書の提出時期が試験日当日の場合は、試験当日に持参してください。 詳細は、14 ページ「7. 一般選抜の試験概要」の項にて確認してください。 	—
日本語能力試験の成績（外国人留学生のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会科学府経済学専攻の教員を志望指導教員とする者 日本語能力試験 N 1、N 2 のいずれかの成績証明書 ※日本国際教育支援協会の発行する「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出する。コピー不可。 	—
在留資格に関する証明（外国人留学生のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 現在日本に居住している外国人留学生は、在留カードの写し（両面）を提出してください。その他の外国人留学生は、パスポートの写しを提出してください。 	—
修学年数調書（外国人留学生のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格（1）により出願する者については提出不要です。 	A 6
受入内諾書（外国人留学生のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 理工学府の教員を志望指導教員とする者 志望指導教員の署名を得たうえで提出してください。 志望指導教員の署名は、原本でなくてもかまいません。 	A 7
受験票発送用の返信用封筒及び切手	<ul style="list-style-type: none"> 発送先住所は日本国内に限ります。 長形 3 号封筒 [120 mm×235 mm] に 354 円分の切手を貼付して【速達】と朱書きし、郵便番号、住所、氏名を明記してください。 	—
受験票以外の書類の発送用の宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> 郵便番号、住所、氏名を記入してください。 	A 1 0
出願書類送付用の宛名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> 住所、氏名、その他必要事項を記入してください。 本紙を封筒表面に貼り付けて郵送してください。 	A 1 1
出願資格認定書（該当者のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 「2. 出願資格（注2）」の入学資格審査を受けた者は、本学が証明した「入学資格認定書」を同封してください。 	—

※「2. 出願資格（注2）」の入学資格審査を受けた者は、入学資格審査申請時に提出した書類を再提出する必要はありません。

② 特別選抜（一般学生枠）、女子特別選抜（女子学生枠）の出願書類（追加分）

特別選抜の受験を希望する者は、上記①の書類に加えて次の書類を提出してください。ただし、女子特別選抜（女子学生枠）に出願する者は、「出願資格証明書」及び「推薦書は不要です。

出願書類等	注意事項	書式番号
出願資格証明書	<ul style="list-style-type: none"> 特別選抜（一般学生枠）【基礎資格】(1)に該当する者は、在籍大学内の所属学科における3年次修了時の総修得単位の占める評価点80点以上の評価が、2分の1以 	B 1

	<p>上であること、または在籍大学内の所属学科における3年次修了時の成績順位が上位3分の1以内であることの記述がある証明が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別選抜(一般学生枠)【基礎資格】(2)に該当する者は、大学教育の3年間に相当する期間※の総取得単位に占める評価点80点以上の評価が、2分の1以上であることの記述がある証明が必要です。(※P5②参照) ・書式を作成後、記載責任者等が厳封してください。 	
推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍大学等の指導教員が作成したものを提出してください。 	B 2
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ(大学院先進実践学環の指導教員)を選んだ理由、現在までの学業との関係及び入学後の研究計画をA4判用紙1ページにまとめてください。 	B 3
入学確約書	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選抜に出願できる者は、合格した場合に当学環への入学が確約できる者です。 	B 4
返信用封筒及び切手	<ul style="list-style-type: none"> ・発送先住所は日本国内に限ります。 長形3号封筒〔120 mm×235 mm〕に354円分の切手を貼付して【速達】と朱書きし、郵便番号、住所・氏名を明記してください。 	—

(4) 入学検定料

- ・払込金額：30,000円
- ・払込期間：出願期間に間に合うように払い込んでください。
- ・払込方法

① 日本国内から出願する者

コンビニエンスストア(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート)の店内にある情報端末機を利用して手続きを行ってください。手続きの詳細は、「横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。

② 日本国内から出願できない者(海外在住者)

下記URLから、教育機関向けの国際的な送金サービス「Flywire」を利用し、クレジットカードもしくは銀行振込により払うことが可能です。

Flywire 支払いウェブサイト：<https://www.flywire.com/pay/ynuni/>

利用に際しては、Flywireのウェブサイトを確認し、不明な点はサポートデスクまでお問い合わせください。

Flywire ウェブサイト：<https://www.flywire.com>

Flywire サポートデスク：<https://www.flywire.com/support>

※ 注意事項

- ・入学検定料が払い込まれていない場合やその証明が提出されていない場合は、出願を受理しません。
- ・「Flywire」を利用する場合の学籍番号/受験番号欄には、「0」を入力してください。
- ・「Flywire」を利用する場合は、「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を出願書類に同封してください。
- ・各支払に係る手数料は、志願者本人の負担となります。

※ 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について

本学では災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.ynu.ac.jp/exam/> (本学ウェブサイトトップページ>入試情報>大学院入試)

※ 入学検定料の返還請求について

・払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 入学検定料を払い込んだが当学環に出願しなかった（出願書類等を提出しなかったまたは出願が受理されなかった。）場合

② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

・入学検定料の返還を請求する場合は、先進実践学環係へ問い合わせてください。返還請求の手続き方法を個別にお知らせします。

・返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。

(5) 受験票

・出願手続き完了後、受験票を志願者宛に発送（郵送）します。

・試験日の10日前までに手元に届かない場合は、先進実践学環係へ連絡してください（6月下旬までに発送予定）。

・特別選抜（一般学生枠）及び女子特別選抜（女子学生枠）の受験資格については、受験票の発送をもって決定の通知とします。

5. 合格者発表

・当学環のウェブサイトにて、合格者の受験番号を掲載します。合格者には、合格者発表日に合格通知書を郵送します。

特別選抜・女子特別選抜

合格者発表日 : 令和6年7月16日（火）14時頃

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

一般選抜

合格者発表日 : 令和6年9月30日（月）14時頃

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

※注意事項

・合格通知書をもって、正式な通知とします。

・ウェブサイトでの掲載期間は、合格者発表日から概ね4日間程度とします。

・合否結果に関する問い合わせには一切応じません。

・募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格により欠員補充を行う場合があります。追加合格該当者に対し、郵便にて通知します。なお、追加合格に関する問い合わせには一切応じません。

6. 入学手続

入学手続期間 : 令和7年3月10日（月）～令和7年3月14日（金）

入学時に必要な経費 : 入学料 282,000円 【現行】

授業料（半期） 267,900円 【現行】

授業料（年額） 535,800円 【現行】

※注意事項

・入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額を徴収します。

・納入された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

・手続きの詳細については、令和7年1月下旬頃（予定）に合格者宛へ必要書類を郵送します。

7. 一般選抜の試験概要

当学環の一般選抜は、本学学府（国際社会科学府・理工学府・環境情報学府・都市イノベーション学府）の入試と密に連携して実施する筆記試験及び面接又は口述試験、並びに出願書類により総合的に判断して行います。各学府の筆記試験（専門科目）、外国語（外部試験）、口述試験の概要を以下に記載します。外部試験（TOEFLやTOEIC等）の成績証明書は、各学府専攻が定める方法で、指定の期日までに必要な成績証明書を提出してください。

なお、試験等の内容については、必ず、自身の志望指導教員が担当している学府専攻の最新の学生募集要項にて試験科目等の詳細や受験上の注意事項を確認してください。また、「Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧」に★もしくは☆印を付してある教員は、当学環への出願においては指導教員として志望することができますが、本学の環境情報学府、都市イノベーション学府に出願する際には指導教員として志望することはできません。

(1) 理工学府の概要

学力検査（外国語（英語）、学科試験Ⅰ、学科試験Ⅱ）、出願書類及び面接（口頭試問）によって行います。なお、外国語試験は、TOEIC、TOEFLのスコアを用います。志願者は、志望指導教員が担当するユニット（理工学府の入試実施上の試験区分）の試験を受験する必要があります。

試験科目等（先進実践学環専任教員の所属する試験区分のみ抜粋）

試験科目	試験区分	学科試験Ⅰ（配点200点）	学科試験Ⅱ（配点200点）
筆記試験	機械工学ユニット	①数学（50点） ②熱力学（50点） ③材料力学（50点） 計150点を200点に換算	①機械力学（50点） ②流体力学（50点） ③制御工学（50点） 計150点を200点に換算
	材料科学フロンティアユニット	①解析学（微分・積分、微分方程式） ②線形代数学（行列とその応用、連立一次方程式） ③力学 ④物理化学（熱力学） ⑤統計物理学 合計5題（各40点）	①材料力学 ②固体電子論 ③結晶塑性学 ④金属組織学Ⅰ（結晶、状態図、及びそれらの関連分野） ⑤金属組織学Ⅱ（拡散、回復・再結晶、相変態、及びそれらの関連分野） 合計5題（各40点）
	海洋空間システムデザインユニット	①解析学（微分・積分、微分方程式）（50点） ②線形代数（50点） ③剛体の力学（50点） 計150点を200点に換算	①流体力学（50点） ②材料力学（50点） ③振動工学（50点） ④船舶海洋工学（浮体静力学、復原性）（50点） ⑤航空宇宙工学（飛行体・航行体の質点の力学）（50点） 合計5題中3題解答、計150点を200点に換算
	先端化学ユニット ※	①数学（解析学、線形代数学、微分方程式） ②基礎無機化学 ③基礎分析化学 ④基礎物理化学 ⑤基礎有機化学 合計5題（各40点）	化学全般の基礎知識、これまでの研究内容ならびに希望する研究分野について入学後の研究計画に関わる専門知識について口述試験を行う。（200点）
※プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可			

	物理工学 ユニット	数学(線形代数、解析学、微分方程式から出題する) (200点)	物理(力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学から出題する)(200点)									
	電子情報 システム ユニット	①線形代数学(100点) ②微分積分学(100点)	①電磁気学(50点) ②回路理論(50点) ③論理回路(50点) ①アルゴリズム(50点)									
外国語	<p>TOEIC、TOEFL いずれかのスコア証明書(原本のみ。以下同じ。)を、<u>試験当日に提出</u>してください。スコア証明書は、一般選抜では学科試験Ⅰの試験時間中に回収します。対象となるテスト及び提出するスコア証明書は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象となる試験</th> <th>提出するスコア証明書</th> <th>公式サイト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)</td> <td>Official Score Certificate (公式認定証)</td> <td>TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-iBT TOEFL-iBT Home Edition TOEFL iBT ペーパー版テスト(Paper Edition)</td> <td>Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票)</td> <td>TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/</td> </tr> </tbody> </table> <p>※TOEIC-IP 及び TOEFL-ITP などの団体受験制度、TOEIC Bridge、TOEIC Speaking & Writing Test、TOEFL-PBT は認められません。</p> <p>※TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) については、QR コード付きのデジタル公式認定証も可とします。</p> <p>※TOEFL スコア証明書については、<u>試験当日に提出して頂く必要があるため、ETS から大学に直送されるスコア証明書は認められません。</u></p> <p>※スコア証明書は、英語テストの受験日が提出日から起算して2年以内のものを提出してください(なお、本年度は移行措置として出願期間の最終日から起算して2年以内のものも有効です)。複数の試験を受験した場合は、合計得点の最も高いものを提出してください。無効となるスコア証明書を提出した場合や、試験当日にスコア証明書の提出がない場合は、<u>合格者とはなりません。</u></p> <p>※TOEFL のスコアについて、Test Taker Score Report に記載される My Best Scores は利用しません。</p> <p>※スコア証明書は、<u>顔写真付き</u>のものを提出してください。</p> <p>※TOEIC、TOEFL スコアの得点を100点満点に換算し、外国語(英語)の得点とします。</p> <p>詳細は、理工学府の学生募集要項を確認してください。</p>			対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト	TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html	TOEFL-iBT TOEFL-iBT Home Edition TOEFL iBT ペーパー版テスト(Paper Edition)	Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票)	TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/
	対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト									
TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html										
TOEFL-iBT TOEFL-iBT Home Edition TOEFL iBT ペーパー版テスト(Paper Edition)	Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票)	TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/										
面接	研究内容や教育プログラムへの適性等についての口頭試問											

(2) 環境情報学府の概要

学力検査(外国語(TOEIC、TOEFL、IELTS)、筆記試験、口述試験・出願書類審査によって行います。

試験科目	専攻	試験区分	出題内容等
筆記試験	人 工 環 境 専 攻 ※	安全環境工学(HG1)	安全環境工学プログラムにおける教育分野(安全工学、環境工学、機械工学、材料工学、応用化学など)に関する問題群の中から選択(200点)
		環境学(HG2)	環境学プログラムにおける教育分野(環境マネジメント、環境分析学、環境影響評価、安全工学、環境工学、応用化学など)に関する問題群の中から選択(200点)
		社会環境(HG3)	社会環境プログラムにおける教育分野(イノベーションと環境マネジメント、地域政策、社会政策など)に関する問題群の中から選択(200点)
		学環学術(HG4)	試験区分「学環学術(HG4)」における教育分野(精密加工学、被服環境学、環境生理学、グリーン・サステイナブル・ケミストリー)に関する問題群の中から選択(200点)
※電卓を持ち込むことは出来ません。			

	自然環境専攻	生態学 (HH1)	生態学プログラムにおける教育分野 (生態科学、生命科学、地質学、古生物学、生物海洋学、法学基礎) に関する問題群の中から選択 (200点)												
		地球科学 (HH2)	地球科学プログラムにおける教育分野 (地質学、古生物学、生物海洋学、生命科学、生態科学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
		環境学術 (HH3)	環境学術プログラムにおける教育分野 (法学基礎、生態科学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
		学環学術 (HH4)	試験区分「学環学術(HH4)」における教育分野 (植物系統分類学、植生地理学、気象学、海洋地質学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
	情報環境専攻 ※	情報学 (HJ1)	情報学プログラムにおける教育分野 (数学、情報学、数理情報学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
		数理科学 (HJ2)	数理科学プログラムにおける教育分野 (数学、数理情報学、計算力学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
		情報学術 (HJ3)	情報学術プログラムにおける教育分野 (数学、理論言語学、計算力学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
		学環学術 (HJ4)	試験区分「学環学術(HJ4)」における教育分野 (数学、応用数学、対照言語学) に関する問題群の中から選択 (200点)												
※電卓を持ち込むことは出来ません。 ※筆記試験に限り語学の辞書を使用することができますが、電子辞書は使用できません。															
外国語	全専攻	英語 (100点) TOEIC、TOEFL または IELTS のスコア証明書を試験当日に持参し、試験実施担当者の指示があった際にスコア証明書 (コピーやダウンロードしたPDFは不可、顔写真付き、原本のみ) を提出してください。複数の試験を受験した場合は、合計得点の最も高いものを提出してください。本入試に限り、スコア有効期限の要件は問わないこととします。なお、これらの提出がない場合は不合格とします。													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象となる試験</th> <th>提出するスコア証明書</th> <th>公式サイト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)</td> <td>Official Score Certificate (公式認定証)</td> <td>TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-iBT TOEFL-iBT((Special)Home Edition 及びPaper Edition)</td> <td>Test Taker Score Report / (受験者用控えスコア票) ※2019年7月31日以前に発行されている場合はExaminee Score Report</td> <td>TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/</td> </tr> <tr> <td>IELTS</td> <td>Test Report Form (公式の成績証明書) ※IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面からTest Report Form (受験者用控え) のPDFをダウンロード・印刷して、提出すること。</td> <td>IELTS (https://www.eiken.or.jp/ielts/)</td> </tr> </tbody> </table>	対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト	TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html	TOEFL-iBT TOEFL-iBT((Special)Home Edition 及びPaper Edition)	Test Taker Score Report / (受験者用控えスコア票) ※2019年7月31日以前に発行されている場合はExaminee Score Report	TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/	IELTS	Test Report Form (公式の成績証明書) ※IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面からTest Report Form (受験者用控え) のPDFをダウンロード・印刷して、提出すること。	IELTS (https://www.eiken.or.jp/ielts/)	<p>※TOEIC、TOEFL、IELTS スコアの得点を100点満点に換算し、外国語 (英語) の得点とします。 ※TOEIC IP及びTOEFL ITPなどの団体受験制度、TOEIC Bridge、TOEIC SWのスコア証明書は認められません。加えて、TOEFL-iBTスコア表に載っているMy Best Scoreは使用しませんので、Test Date Scoreが最も高いものを提出してください。 ※TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) については、QRコード付きのデジタル公式認定証も可とします。 詳細は、環境情報学府の学生募集要項を確認してください。</p>
		対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト											
		TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html											
TOEFL-iBT TOEFL-iBT((Special)Home Edition 及びPaper Edition)	Test Taker Score Report / (受験者用控えスコア票) ※2019年7月31日以前に発行されている場合はExaminee Score Report	TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/													
IELTS	Test Report Form (公式の成績証明書) ※IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面からTest Report Form (受験者用控え) のPDFをダウンロード・印刷して、提出すること。	IELTS (https://www.eiken.or.jp/ielts/)													
口述試験		全専攻	希望する研究分野に関する口述試験(200点)												

【注意事項】

- 筆記試験の受験者は試験開始 20 分前に試験室に入ってください。
- 筆記試験及び口述試験の解答に英語を使うことを認めます。
- 受験する教育プログラム及び科目を、必ず事前 (願書提出より前) に志望指導教員に連絡し、相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもあります。

(3) 都市イノベーション学府の概要

出願書類の審査及び外国語試験、専門科目試験、口述試験により行います。

学科試験 I については、志願者は出願時に志望する問題を選択すること。

試験科目	専攻	出題内容等
------	----	-------

外国語	各専攻	外国語の試験は、英語（TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを用いた選抜）とする。ただし、「地域社会系問題」を志望する者については、研究希望内容により英語に代えて、ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・中国語・韓国語から1ヶ国語を選択して受験科目とすることができる。希望する場合には、事前に指導を希望する教員と連絡を取り、出願時に受験する外国語科目を選択すること。（出願時、利用言語を願書に記載すること。）ただし、母語を上記の外国語として受験することはできない。【100点】										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象となる試験</th> <th>提出するスコア証明書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC L&R</td> <td>Official Score Certificate（公式認定証：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。ただし自宅で印刷した書面でもQRコードにて真偽が判別できる書面は提出を可とする。）</td> </tr> <tr> <td>TOEFL (iBT)</td> <td>Test Taker Score Report：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。</td> </tr> <tr> <td>TOEFL (iBT) Home Edition 及び Paper Edition</td> <td>Test Taker Score Report：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。</td> </tr> <tr> <td>IELTS (Academic Module)</td> <td>Test Report Form（公式の成績証明書）：自宅へ郵送されたもの。 ※IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面から Test Report Form（受験者用控え）のPDFをダウンロード・印刷して、提出してください。</td> </tr> </tbody> </table>	対象となる試験	提出するスコア証明書	TOEIC L&R	Official Score Certificate（公式認定証：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。ただし自宅で印刷した書面でもQRコードにて真偽が判別できる書面は提出を可とする。）	TOEFL (iBT)	Test Taker Score Report：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。	TOEFL (iBT) Home Edition 及び Paper Edition	Test Taker Score Report：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。	IELTS (Academic Module)	Test Report Form（公式の成績証明書）：自宅へ郵送されたもの。 ※IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面から Test Report Form（受験者用控え）のPDFをダウンロード・印刷して、提出してください。
		対象となる試験	提出するスコア証明書									
		TOEIC L&R	Official Score Certificate（公式認定証：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。ただし自宅で印刷した書面でもQRコードにて真偽が判別できる書面は提出を可とする。）									
		TOEFL (iBT)	Test Taker Score Report：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。									
TOEFL (iBT) Home Edition 及び Paper Edition	Test Taker Score Report：自宅へ郵送されたもの。自宅で印刷した書面は不可とする。											
IELTS (Academic Module)	Test Report Form（公式の成績証明書）：自宅へ郵送されたもの。 ※IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面から Test Report Form（受験者用控え）のPDFをダウンロード・印刷して、提出してください。											
<p>①上記いずれかの試験のスコア証明書（原本のみ、顔写真付き、コピー不可）を出願時もしくは試験監督者等の求めに応じて学科試験当日の学科試験Ⅰ・学科試験開始前に提出すること。スコア証明書の受験日は試験当日から起算して2年以内のものであること。</p> <p>②TOEIC-IP 及び TOEFL-ITP などの団体受験制度、TOEIC Bridge、TOEIC S&W のスコア証明書は認めない。</p> <p>③TOEIC、TOEFL、IELS のスコアを100点満点に換算し、外国語（英語）の得点とします。</p> <p>条件を満たしたスコアの提出がない場合、失格とする。提出されたスコア証明書は面接時に返却する。詳細は、都市イノベーション学府の学生募集要項を確認してください。</p>												
<p>建築系問題志望者に対しては、①建築史・建築芸術、②建築計画、③都市計画、④都市環境工学、⑤建築環境工学、⑥建築材料構法、⑦建築構造力学、⑧建築構造計画、⑨建築・都市防災計画、⑩特別小論文の10科目から志望先教員の専門分野に関する科目を含めて6科目を選択する筆記試験を行う。</p> <p>※「⑩特別小論文」については志望先教員によって選択できない場合がある。必ず志望先教員あるいは問い合わせ担当教員に確認すること。【300点】</p>												
<p>都市文化系問題志望者に対しては、①建築史・建築芸術、②建築計画、③都市計画、④都市環境工学、⑤建築環境工学、⑥建築材料構法、⑦建築構造力学、⑧建築構造計画、⑨建築・都市防災計画、⑩芸術学・芸術批評A、⑪芸術学・芸術批評B、⑫思想・文化論A、⑬思想・文化論Bの13科目のうち、⑩～⑬から2科目を選択する。【2科目で300点】</p>												
学科試験Ⅰ	都市地域社会専攻	地域社会系問題志望者は、人文社会科学分野からの複数の記述問題から1題を選び解答。ただし、「Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧」に★印を付してある教員を指導教員として志望する場合、人間力創生分野からの複数の記述問題から1題を選び解答。【200点】										
学科試験Ⅱ	建築都市文化専攻	建築系問題志望者に対しては、建築史・建築芸術、建築計画、都市計画、都市環境管理計画、建築環境工学、鋼構造学、鉄筋コンクリート構造学、地域創造、大空間構造、建築構法・建築生産の中から、志望先教員の専門分野に関する1科目を選択する筆記試験と面接を行う。【200点】										
		都市文化系問題志望者に対しては、研究計画書等にもとづいて、専門分野に係る面接を行う。【200点】										
	都市地域社会専攻	研究計画書等にもとづいて、専門分野に係る口述試験を行う。【200点】										

【注意事項】

- ・受験者は試験開始20分前に試験室に入ること。
- ・学科試験Ⅰの開始前に、試験監督者等の求めに応じてTOEIC、TOEFL、IELTS等のスコア証明書を提出すること。（出願時に提出した者は除く）。提出されたスコア証明書は面接時に返却する。

（4）国際社会科学府の概要

出願書類、学力検査、口述試験の内容を総合して行います。なお、経営学専攻の第2次選抜は、第1次選抜合格者に対して行います。

試験科目	専攻	出題内容等		
外国語	各専攻	<p>外国語の試験は以下のスコア証明書を利用します。スコア証明書は各専攻が定める方法で期日までに手配すること。なお、スコア証明書が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。</p>		
		<p>試験実施機関から横浜国立大学へ直送する際には次のコードを使用すること。</p> <table border="1" data-bbox="411 394 1473 577"> <tr> <td data-bbox="411 394 951 434">ETS から横浜国立大学へ直送する際のコード</td> <td data-bbox="951 394 1473 434">IELTS から横浜国立大学へ直送する際の住所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 434 951 577">横浜国立大学 (Yokohama National University) Institution Code 0410 Department Code 99</td> <td data-bbox="951 434 1473 577">Admission Division Student affairs Department Yokohama National University 79-8 Tokiwadai Hodogaya-ku, Yokohama 240-8501 JAPAN</td> </tr> </table>	ETS から横浜国立大学へ直送する際のコード	IELTS から横浜国立大学へ直送する際の住所
ETS から横浜国立大学へ直送する際のコード	IELTS から横浜国立大学へ直送する際の住所			
横浜国立大学 (Yokohama National University) Institution Code 0410 Department Code 99	Admission Division Student affairs Department Yokohama National University 79-8 Tokiwadai Hodogaya-ku, Yokohama 240-8501 JAPAN			
		<p>経済学専攻・・・下記いずれかのスコア証明書。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL-iBT のスコア証明書「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」のみ有効。ETS から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。 ・TOEIC L&R のスコア証明書（原本（コピーは不可）または TOEIC デジタル公式認定証を印刷して出願時に提出すること。） ※550 点以上のスコア証明書（日本国内で受験したものに限り） ※出願開始日から過去3年以内に受験した試験の「Official Score Certificate」のみ有効。 ※デジタル公式認定証に表示される QR コードを用いてその真正性を確認します。 <p>経営学専攻・・・TOEFL-iBT のスコア証明書（Home Edition 及び Paper Edition を含む） ※スコア証明書は、第2次選抜日（口述試験日）から遡って2年以内かつ出願開始日より前に実施されたもので、下記（A）と（B）の両方が必要です。 ※TOEFL のスコアシートに Test Date Scores と My Best Scores の両方が表示されますが、スコアとしては Test Date Scores を採用します。 （A）「EDUCATIONAL TESTING SERVICE (ETS)」発行の「Official Score Report」のみ有効。ETS から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。 （B）ETS から志願者本人に送付された「Test Taker Score Report」の写し、又は、ウェブサイトから印刷した「Test Taker Score Report」を出願時に提出すること。 ※出願期間開始日より前に直送の手配を完了させること。出願期間開始日より前に「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」に直送の手配が受けられていない場合、出願は受理されません。</p> <p>国際経済法学専攻・・・下記いずれかのスコア証明書。試験実施機関から横浜国立大学へ直送されるように手配すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL のスコア証明書「EDUCATIONAL TESTING SERVICE」発行の「Official Score Report」のみ有効。 ・TOEIC のスコア証明書「Official Score Certificate」のみ有効。TOEIC L&R の受験結果「Official Score Certificate」（公式認定証）の原本（QR コードつきデジタル公式認定証も可）を提出してください。 ・IELTS のスコア証明書「IELTS Academic module」のみ有効。なお、IELTS Academic module についてはオンライン版の受験も認めます。IELTS Online を受験した場合は、試験結果確認画面から Test Report Form（受験者用控え）の PDF をダウンロード・印刷して、出願書類に同封してください。 ※TOEFL-iBT については My Best Scores が使用されます。なお、1回のみ受験の場合は Test Date Scores を使用します。また、TOEFL iBT Home Edition 及び Paper Edition のスコアも使用可能です。 ※TOEFL ITP および TOEIC SW、TOEIC Bridge、TOEIC IP のスコアは出願書類として認めません。 <p>詳細は、国際社会科学府各専攻の学生募集要項を確認してください。</p>		

<p>学力検査</p>	<p>経済学専攻</p>	<p>筆記試験（専門科目） 「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅱ」「経済史」「経済政策」「統計学」「計量経済学」の6科目のうち以下の7通りの組合せから1つを出願時に選択する。 1. 「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」と「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅱ」の2科目 2. 「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」と「経済史」の2科目 3. 「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」と「経済政策」の2科目 4. 「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」と「統計学」の2科目 5. 「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」と「計量経済学」の2科目 6. 「経済史」と「経済政策」の2科目 7. 「統計学」と「計量経済学」の2科目 専門科目の出題は日本語で行うが、外国人の出願者は解答を英語で行うこともできる。ただし、語学辞典は持ち込み不可。 ※日本経済学教育協会の実施する経済学検定試験「ERE ミクロ・マクロ」のAランク以上の「成績証明書」を提出した者は、本学で実施する専門科目試験「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」を免除し、「ERE ミクロ・マクロ」の成績を「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅰ」の成績に換算する。その希望者は「ERE ミクロ・マクロ」の成績証明書の原本を出願時に必ず提出すること。なお、証明書を提出した場合は、「マイクロ経済学・マクロ経済学Ⅱ」「経済史」「経済政策」「統計学」「計量経済学」の5科目から出願時に選択した1科目を解答する。</p>
<p>口述試験</p>		<p>原則として日本語により面接を行う。</p>
<p>学力検査 (第1次選抜： 筆記試験)</p>	<p>経営学専攻</p>	<p>筆記試験（論文） 経営学分野（2題）、会計学分野（2題）、経営システム科学分野（2題）の6題の中から、2題選択すること。 ※ 会計学分野又は経営システム科学分野の教員を志望する場合は、それぞれの分野の問題の中から1題は選択すること。 ※ 解答は、日本語で行うこと。辞書等の持ち込みは一切不可。 ※ 各問題の出題範囲と推奨テキストは、経営学専攻ウェブサイトに掲載されているので参照すること。 https://www.b.ynu.ac.jp/admission/master/index.html</p>
<p>口述試験 (第2次選抜： 口述試験)</p>		<p>第1次選抜合格者に対し、口述試験を行います。</p>
<p>学力検査</p>	<p>国際経済法学専攻</p>	<p>筆記試験（専門科目） 次のうち2科目を受験すること。私費外国人留学生は1科目を受験すること 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、国際法、租税法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学</p>
<p>口述試験</p>		<p>出願書類に基づいて、専門知識・経験・学力などを総合的に問います。</p>

8. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

心身の障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次の（１）～（３）の内容を確認したうえで、下記の様式例を参考にして事前相談申請書を作成し、先進実践学環係へ提出してください。

- （１）原則として出願前に申し出てください。事前相談をしても、本学への出願が義務づけられるわけではありません。
- （２）不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、出願後でも相談を受け付けます。速やかに申し出てください。
- （３）相談の内容や時期によっては、希望通りに配慮ができない場合や、出願期間終了時までには配慮事項を決定できない場合があります。可能な限り早い時期に申し出てください。

（事前相談申請書様式例（A4判縦））

令和 年 月 日
横浜国立大学長 殿
フリガナ 氏 名 生年月日 住 所 電話番号
横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。
記
1. 志願先（学府または学環）
2. 出願を予定している入試名
3. 障がい等の種類・程度
4. 受験上の配慮を希望する事項・内容
5. 修学上の配慮を希望する事項・内容
6. 出身学校在学中にとられていた配慮事項・内容
7. その他 （添付書類）医師の診断書（原本または写し）、身体障害者手帳の写し、その他参考資料

9. 入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度について

入学後の経済支援制度として、「入学料・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があります。詳細は学務・国際戦略部学生支援課ウェブサイトの奨学金・授業料/入学料免除のページを確認してください。

<https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/>

10. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について （社会人学生に対する大学院教育の特例）

大学院設置基準（文部科学省令）第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の就学に配慮がなされています。同条に定める教育方法の特例を、当学環での履修を希望する社会人学生（入学後も企業等に在職している者）に対して運用します。

【特例の内容】

- (1) 修学年限（修士課程2年）のうち1年間は、原則として、全日登学をしてください。
- (2) 特例による授業は平日の夜間に開設しますが、昼間の授業を含めた全時間帯の受講を許可します。

第5時限 16:15～17:45（昼夜相互時間帯）

第6時限 17:50～19:20（夜間時間帯）

第7時限 19:25～20:55（夜間時間帯）

- (3) 修士課程では学業に専念する1年間は主として修士研究に充てられるように修了に必要な授業の単位修得は夜間の授業を利用して行うよう履修計画を立ててください。したがって、学業に専念する期間における昼間の受講は夜間に開講されていない授業に限ることが推奨されます。
- (4) 入学に当たっては、指導教員の指導のもとに、2年間を見通した履修計画をたててください。
- (5) 修学年限で修了するのが勤務の都合上無理な場合は、あらかじめ3～4年間にわたる履修計画をたてることも考慮してください（ただし、長期履修学生制度の適用は社会人特別選抜による入学者のみです）。
- (6) 「特例」による履修計画の変更はその都度申し出て許可を得てください。

1.1. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

- ①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する書類の送付、生協資料の送付）及び入学手続き業務。
- ②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料
- ③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）。
- ④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）。
- ⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用または提供されることはありません。

- (2) 上記（1）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

1.2. 安全保障輸出管理について

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に、志望指導教員と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、国籍を問わず入学者全員は、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名の上、提出していただきます。

詳細は、本学研究推進機構ウェブサイトに掲載している『安全保障輸出管理に基づく外国人留学生の取扱いについて』をご確認ください。

研究推進機構ウェブサイト : <https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/>

1 3. 不測の事態が生じた場合における措置について

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害や疫病・感染症等の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、先進実践学環のウェブサイトにてお知らせします。なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。

出願期間後に変更等が生じた場合は、当学環のウェブサイトでお知らせするとともに、志願者宛に電子メール等で通知します。

先進実践学環ウェブサイト : <https://ynuifgs.ynu.ac.jp>

1 4. その他注意事項

- (1) 入学資格審査手続後及び出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 出願書類等に関して大学から問い合わせをする場合は電話または電子メールで行います。入学願書等に記入するメールアドレスは、<@ynu.ac.jp>の電子メールを受信できるよう設定しておいてください。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合や、試験中の不正行為が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、不正行為の態様によっては、警察に被害届を提出する場合があります。
- (5) 提出された卒業証明書や成績証明書について、第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で、本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (6) 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。
- (7) 実施する試験のうち1つでも欠席した場合は、合格者とはなりません。
- (8) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験は出来ません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
 - ① カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
 - ② 試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
 - ③ 試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ④ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の許可されていない電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。
- (9) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(8)と同様です。
 - ① 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の許可されていない電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ③ 試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
 - ④ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

問い合わせ先 : 横浜国立大学大学院 先進実践学環係
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8
ifgs-jimu@ynu.ac.jp

Ⅱ 先進実践学環学位プログラムのカリキュラム

第5期科学技術基本計画で Society 5.0 が提唱されて以来、その構築に貢献する人材養成が求められています。その近未来社会を安心安全で持続可能なものにするためには、AI やデータサイエンスの先端技術に加え、人間や社会に対する理解も重要です。先進実践学環学位プログラムでは、この社会ニーズに応えるために、文系と理系の部局が1つのキャンパスにあるという本学の特徴を生かした学修環境を提供します。

この学位プログラムでは、固定したカリキュラムを履修するのではなく、全学が提供する専門講義科目の中から、自身の研究テーマに合わせて、履修する授業を選択するようになっています。

入学当初に、研究テーマと指導教員グループを決定します。研究テーマは次の8つの中から選択し、指導教員グループと相談の上、具体的な研究内容と履修計画を立て、学修・研究活動を行います。

応用AI : AIなどの先端的な情報技術に関する知識を修得し、社会や産業界における応用を研究する。

社会データサイエンス : 情報・統計処理を駆使して、現実の社会経済課題に対する解決策を研究する。

リスク共生学 : 環境や社会における安心・安全を確保し、持続可能な社会の構築について研究する。

国際ガバナンス : 途上国・新興国開発や海事関連の幅広い知識と理論の実践について研究する。

成熟社会 : 地域社会で急激な変化に伴い生じる課題に対し、エビデンスに基づいた法政策を研究する。

人間力創生 : 人間固有の能力を高め、人間の文化的営みにおける新たな知や価値の創出について研究する。

横浜アーバニスト : 今日的な先端技術を取り入れ、都市の持続的発展と社会的課題の解決の両面を研究する。

集積エレクトロニクスと社会展開 : 最先端半導体・量子技術やAIなどの応用技術、社会応用について研究する。

専門講義科目は下の表にあるように12のカテゴリーに分類されています。学環共通科目「人間学通論」と「IT 技法通論」に加え、研究テーマごとに定められた条件(◎はそれぞれから2単位以上、合計8単位以上、○はいずれかから1単位以上)を満たすように専門講義科目を履修し、「演習」を通して指導教員から研究指導を受けます。その進捗状況や文理融合・異分野融合の度合いなどを確認するために、年に1回行われるワークショップにおいて中間発表を行い、最終的な研究成果を修士論文にまとめます。また、文理融合的な学修を進める上で不足している知識を補えるように、本学が提供する3000番台以下の授業(学部相当)を活用する「プレレキジット科目」も用意されています。

研究テーマ▼	AI・情報学	数理・統計学	医工連携	環境学	安心安全の科学	総合海洋学	都市科学	経済経営	国際関係	ビジネス法務	人間文化	地域連携
応用AI	◎	◎	○				○	○			○	
社会データサイエンス	○	◎					○	◎	○	○		
リスク共生学		○		◎	◎	○	○			○		
国際ガバナンス		○		○		○		○	◎			◎
成熟社会		○	○				○	○		◎	◎	
人間力創生	○	○			○		○				◎	◎
横浜アーバニスト		○		○	○		◎				○	◎
集積エレクトロニクスと社会展開	◎	○	◎	○	○			○				

所定の条件を満たすように授業を履修し、修士論文の発表会を経て最終審査に合格した者は、研究テーマに即した学修をしたことを証明する学修証明書と「修士(学術)」の学位記が修了時に授与されます。

詳細は、当学環ウェブサイト (<https://ynuifgs.ynu.ac.jp>) を参照してください。

Ⅲ 先進実践学環の指導教員一覧

- ・各研究テーマの指導教員は、下記一覧の通りです。（複数の研究テーマを担当する教員もいます。）
- ・各教員の研究分野等の詳細は、本学ウェブサイトの研究者総覧で確認してください。 研究者総覧 URL : <https://er-web.ynu.ac.jp/search?m=home&l=ja>
- ・**志願者は、志望指導教員と出願前に必ず連絡を取ってから出願してください。**研究者総覧に当該教員の連絡先が公開されていない場合は、先進実践学環係（22ページ参照）へ問い合わせてください。
- ・★もしくは☆印を付してある教員は、先進実践学環に出願する者のみ志望指導教員とすることができます。
- ・海外出張、その他の理由のため、◆印を付した教員を指導教員として今回志願することはできません。**（※本要項公表時点の一覧であり、今後変更となる場合があります。）**

1. 応用AI

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	佐藤 恭一	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	機械運動制御分野	機械工学
教授	前田 雄介	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学分野	機械工学
准教授	太田 裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野	機械工学
准教授	加藤 龍	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	医療福祉ロボット分野	機械工学
准教授	高木 洋平	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	樋口 丈浩	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	航空機・衛星の誘導制御工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	瀧脇 大海	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学・精密機械システム分野	機械工学
講師	杉内 肇 ◆	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学分野	機械工学
教授	市毛 弘一	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	デジタル回路・通信分野	電子情報システム
教授	濱上 知樹	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	人工知能と社会システム分野	電子情報システム
教授	福永 香	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	データ解析・文化財科学分野	電子情報システム
教授	藤本 康孝	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	制御工学分野	電子情報システム
准教授	久我 宣裕	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	マイクロ波工学分野	電子情報システム
准教授	杉本 千佳	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	生体計測工学, 知覚情報処理分野	電子情報システム
教授	岡嶋 克典	環境情報学府	情報環境専攻	感覚知覚情報処理分野	情報学
教授	田中 秀毅 ☆	環境情報学府	情報環境専攻	英語学・対照言語学（意味論・統語論）分野	学環学術（HJ4）
教授	島 圭介	環境情報学府	情報環境専攻	生体医工学, リハビリテーション科学分野	情報学
教授	白川 真一	環境情報学府	情報環境専攻	知能情報学分野	情報学
教授	瀬川 悦生	環境情報学府	情報環境専攻	量子探索アルゴリズム分野	数理科学
教授	富井 尚志	環境情報学府	情報環境専攻	データ工学分野	情報学
教授	藤井 友比呂	環境情報学府	情報環境専攻	理論言語学分野	情報学術
教授	森 辰則	環境情報学府	情報環境専攻	自然言語処理分野	情報学

教授	田名部 元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション&ゲーミング方法論分野	
准教授	五島 圭一	国際社会科学府	経営学専攻	ファイナンス、コンピュータサイエンス分野	

2. 社会データサイエンス

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	池島 祥文	国際社会科学府	経済学専攻	農業経済学・地域農業開発分野	
教授	石山 幸彦	国際社会科学府	経済学専攻	ヨーロッパ統合史・フランス経済史分野	
教授	伊集 守直	国際社会科学府	経済学専攻	財政学・地方財政論分野	
教授	居城 琢	国際社会科学府	経済学専攻	地域経済論・産業連関論分野	
教授	氏川 恵次	国際社会科学府	経済学専攻	環境の産業連関分析分野	
教授	大森 義明 ◆	国際社会科学府	経済学専攻	労働経済学・家族の経済学分野	
教授	奥村 綱雄	国際社会科学府	経済学専攻	金融論・マクロ経済学・応用計量経済学分野	
教授	木崎 翠 ◆	国際社会科学府	経済学専攻	中国経済・中国企業システム分野	
教授	熊野 太郎	国際社会科学府	経済学専攻	ミクロ経済学・マーケットデザイン分野	
教授	佐藤 清隆	国際社会科学府	経済学専攻	為替レート・国際金融分野	
教授	SHRESTHA NAGENDRA	国際社会科学府	経済学専攻	国際産業連関分析分野	
教授	相馬 直子 ◆	国際社会科学府	経済学専攻	社会政策学・福祉社会学分野	
教授	永井 圭二	国際社会科学府	経済学専攻	数理統計学分野	
教授	藤生 源子	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学・経済成長論分野	
教授	邊 英治	国際社会科学府	経済学専攻	日本経済史・金融史分野	
教授	松永 友有	国際社会科学府	経済学専攻	国際経済史・英国通商政策分野	
教授	山崎 圭一	国際社会科学府	経済学専攻	途上国・ラテンアメリカ経済分野	
准教授	小川 翔吾	国際社会科学府	経済学専攻	経済理論・マクロ経済学分野	
准教授	加藤 隆太	国際社会科学府	経済学専攻	計量経済学分野	
准教授	佐野 隆司	国際社会科学府	経済学専攻	メカニズムデザイン・ゲーム理論分野	
准教授	相馬 尚人	国際社会科学府	経済学専攻	マクロ経済学・金融政策論・計量時系列分析分野	
准教授	張 馨元	国際社会科学府	経済学専攻	新興アジア経済論・食料経済分野	
准教授	鶴岡 昌徳	国際社会科学府	経済学専攻	産業組織論・応用計量経済学分野	
准教授	出口 雄大	国際社会科学府	経済学専攻	日本近現代史・都市史分野	
准教授	西川 輝	国際社会科学府	経済学専攻	国際金融論分野	
准教授	古川 知志雄	国際社会科学府	経済学専攻	応用ミクロ経済学・公共経済学分野	
准教授	茂住 政一郎	国際社会科学府	経済学専攻	財政社会学・アメリカ財政史分野	
教授	青木 洋	国際社会科学府	経営学専攻	経営史・技術史分野	

教授	泉 宏之 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	簿記および財務会計分野
教授	伊藤 有希	国際社会科学府	経営学専攻	金融市場、証券、金融リスクに関する分野
教授	大雄 智	国際社会科学府	経営学専攻	会計測定とディスクロージャー分野
教授	大沼 雅也	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーション実現プロセスにおける知識の形成と普及に関する分野
教授	大森 明	国際社会科学府	経営学専攻	環境問題、資源問題、社会問題に対する会計分野
教授	小川 慎一	国際社会科学府	経営学専攻	雇用や労働、働きかたに関する社会学分野
教授	貴志 奈央子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	産業育成に向けた科学技術政策に関する分野
教授	木村 晃久	国際社会科学府	経営学専攻	財務会計分野
教授	公文 蔵人	国際社会科学府	経営学専攻	戦前期日本における大企業体制の形成過程に関する分野
教授	倉田 久	国際社会科学府	経営学専攻	サプライチェーン・マネジメント分野
教授	郭 沛俊	国際社会科学府	経営学専攻	意思決定理論とオペレーションズ・リサーチ分野
教授	河野 英子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	サプライヤーの組織能力と競争優位に関する分野
教授	小林 正佳 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	言語コミュニケーション分野
教授	齋藤 真哉 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	会計における計算構造と財務諸表表示に関する分野
教授	鈴木 定省	国際社会科学府	経営学専攻	オペレーションズマネジメントおよび顧客価値創造に関する分野
教授	孫 穎	国際社会科学府	経営学専攻	環境経営・環境経済学分野
教授	高井 文子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションと企業戦略に関する分野
教授	竹内 竜介 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	多国籍企業の海外現地事業発展プロセスに関する分野
教授	高橋 賢	国際社会科学府	経営学専攻	管理会計・原価計算の計算構造理論、原価配分理論分野
教授	田名部 元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション&ゲーミング方法論分野
教授	鶴見 裕之 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	計量的なアプローチを用いたマーケティング及び流通に関する分野
教授	中村 博之 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	設備投資プロジェクトのための管理会計システム分野
教授	原 俊雄	国際社会科学府	経営学専攻	簿記および財務会計の理論・制度・歴史に関する分野
教授	二神 枝保	国際社会科学府	経営学専攻	戦略的人的資源管理に関する分野
教授	前山 政之	国際社会科学府	経営学専攻	公認会計士による財務諸表監査および内部統制監査に関する分野
教授	真鍋 誠司	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションおよび製品開発論分野
教授	本橋 永至	国際社会科学府	経営学専攻	マーケティング・サイエンスおよびビジネス・データサイエンス分野
教授	森田 洋	国際社会科学府	経営学専攻	金融市場、証券、財務的意思決定に関する分野
教授	谷地 弘安	国際社会科学府	経営学専攻	ICT産業における市場・競争戦略、技術マーケティングに関する分野
教授	山岡 徹 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	組織変革マネジメントに関する分野
教授	横澤 公道 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	国際経営・生産管理分野
准教授	君島 美葵子 ◆	国際社会科学府	経営学専攻	管理会計・原価計算に関する分野
准教授	五島 圭一	国際社会科学府	経営学専攻	ファイナンス、コンピュータサイエンス分野
准教授	佐々木 秀綱	国際社会科学府	経営学専攻	実験手法を用いた組織行動分野

准教授	軸屋 泰隆	国際社会科学府	経営学専攻	起業家精神、ベンチャービジネス、スタートアップエコシステム分野	
准教授	曹 勁	国際社会科学府	経営学専攻	サステナビリティ会計、生態会計、環境会計分野	
准教授	高須 悠介	国際社会科学府	経営学専攻	財務会計・企業財務に関する分野	
准教授	多田 伶	国際社会科学府	経営学専攻	マーケティングおよび消費者行動分野	
准教授	楊 芸玥	国際社会科学府	経営学専攻	国際人的資源管理と組織行動分野	
講師	松井 暉	国際社会科学府	経営学専攻	計算社会科学分野	
講師	横田 一貴	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションと経営資源に関する分野	
教授	君塚 正臣	国際社会科学府	国際経済法学専攻	憲法分野	
教授	周佐 喜和	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーションマネジメント分野	社会環境
教授	安本 雅典	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーション戦略論分野	安全環境工学、環境学、社会環境
准教授	遠藤 聡	環境情報学府	人工環境専攻	地域イノベーション政策論分野	環境学、社会環境
准教授	奥山 尚子	環境情報学府	人工環境専攻	応用ミクロ経済学、応用計量経済学、公共政策論分野	社会環境
教授	茨木 貴徳 ☆	環境情報学府	情報環境専攻	非線形関数解析学・凸解析学分野	学環学術 (HJ4)
教授	小関 健太	環境情報学府	情報環境専攻	グラフ理論、グラフアルゴリズム分野	数理科学
教授	四方 順司	環境情報学府	情報環境専攻	情報理論、暗号理論分野	情報学、数理科学
教授	中本 敦浩	環境情報学府	情報環境専攻	離散数学分野	数理科学
教授	野間 淳	環境情報学府	情報環境専攻	代数幾何学分野	数理科学
教授	原下 秀士	環境情報学府	情報環境専攻	代数学分野	数理科学
教授	山田 貴博	環境情報学府	情報環境専攻	計算力学分野	情報学、情報学術
准教授	牛越 恵理佳	環境情報学府	情報環境専攻	解析学、偏微分方程式論分野	数理科学
准教授	白崎 実	環境情報学府	情報環境専攻	計算流体力学分野	情報学、数理科学、情報学術
准教授	松井 和己	環境情報学府	情報環境専攻	計算力学分野	情報学、情報学術
准教授	山形 紗恵子 ☆	環境情報学府	情報環境専攻	幾何学的群論分野	学環学術 (HJ4)
講師	野崎 雄太	環境情報学府	情報環境専攻	位相幾何学分野	数理科学

3. リスク共生学

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	秋庭 義明 ◆	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	機械構造物の破壊制御分野	機械工学
教授	荒木 拓人	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代エネルギーデバイス分野	機械工学
教授	岡田 哲男	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	尾崎 伸吾	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料強度分野	機械工学
教授	川村 恭己	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学、構造情報システム、リスク評価等の分野	海洋空間システムデザイン
教授	西 佳樹	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋環境工学分野	海洋空間システムデザイン

教授	長谷川 誠	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	材料強度制御分野	材料科学フロンティア
教授	廣澤 渉一	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	構造材料設計分野	材料科学フロンティア
教授	丸尾 昭二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	付加製造・微細加工分野	機械工学
教授	向井 剛輝	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	光・量子材料工学分野	材料科学フロンティア
教授	宮路 幸二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	高速気流の数値解析の航空宇宙機への適用分野	海洋空間システムデザイン
教授	村井 基彦	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	太田 裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野	機械工学
准教授	大竹 充	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	磁性・スピントロニクス材料分野	材料科学フロンティア
准教授	大野 直子	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	複合過酷環境耐性材料工学分野	材料科学フロンティア
准教授	高木 洋平	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	中津川 博	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	熱電エネルギー変換材料分野	材料科学フロンティア
准教授	平川 嘉昭	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	前野 智美	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	塑性加工および生産加工分野	材料科学フロンティア
准教授	満行 泰河	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶などの大規模構造物を対象としたシステム設計分野	海洋空間システムデザイン
准教授	李 僑	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	岡 泰資	環境情報学府	人工環境専攻	火災の科学と防火技術分野	安全環境工学
教授	亀屋 隆志	環境情報学府	人工環境専攻	環境安全学分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	熊崎 美枝子	環境情報学府	人工環境専攻	エネルギー物質化学と化学反応プロセスの制御技術分野	安全環境工学
教授	小林 剛	環境情報学府	人工環境専攻	環境安全学分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	坂本 智 ☆	環境情報学府	人工環境専攻	精密加工学・砥粒加工学・切削加工学分野	学環学術 (HG4)
教授	薩本 弥生 ☆	環境情報学府	人工環境専攻	被服環境学(衛生・構成・材料・心理・服育含) 分野	学環学術 (HG4)
教授	澁谷 忠弘	環境情報学府	人工環境専攻	機械システムのリスク管理分野	安全環境工学
教授	多々見 純一	環境情報学府	人工環境専攻	セラミックス分野	安全環境工学、環境学
教授	中井 里史 ◆	環境情報学府	人工環境専攻	環境疫学・健康リスク評価方法論分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	松宮 正彦	環境情報学府	人工環境専攻	応用電気化学、抽出分離化学	安全環境工学、環境学
教授	松本 真哉	環境情報学府	人工環境専攻	機能性色素化学、有機結晶化学、ライフサイクル思考を基礎とした環境教育分野	安全環境工学、環境学
准教授	飯島 志行	環境情報学府	人工環境専攻	粉体材料プロセス工学分野	安全環境工学、環境学
准教授	笠井 尚哉	環境情報学府	人工環境専攻	材料のリスク管理分野	安全環境工学
教授	石川 正弘	環境情報学府	自然環境専攻	地球システムの視点から地球ダイナミクスとテクトニクス分野	生態学、地球科学
教授	鏡味 麻衣子	環境情報学府	自然環境専攻	水域生態学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	河潟 俊吾 ☆	環境情報学府	自然環境専攻	海洋地質学・微古生物学・古海洋学分野	学環学術 (HH4)
教授	倉田 薫子 ☆	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性・植物系統分類・植物地理分野	学環学術 (HH4)
教授	小池 文人 ◆	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性保全の見地から地域景観、生物相と群集形成分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	酒井 暁子	環境情報学府	自然環境専攻	植物生態学および環境保全学分野	生態学、地球科学、環境学術

教授	佐々木 雄大	環境情報学府	自然環境専攻	生物多様性保全学および都市生態学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	下出 信次	環境情報学府	自然環境専攻	海洋環境学の視点から生物海洋学分野	生態学、地球科学
教授	中森 泰三	環境情報学府	自然環境専攻	生物の生態学的特性と環境の関係分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	平塚 和之 ◆	環境情報学府	自然環境専攻	植物遺伝子工学とその周辺の科学技術に関する高等植物の環境応答、生殖、病原体と宿主、分子育種分野	生態学、地球科学
教授	筆保 弘徳 ☆	環境情報学府	自然環境専攻	熱帯気象学・台風・防災分野	学環学術 (IH4)
教授	山本 伸次	環境情報学府	自然環境専攻	地球物質循環と地質学分野	生態学、地球科学
教授	和仁 良二	環境情報学府	自然環境専攻	古生物学と古生態学分野	生態学、地球科学
准教授	中村 達夫	環境情報学府	自然環境専攻	植物分子生理学および高機能植物の育種分野	生態学、地球科学
准教授	吉田 龍二	環境情報学府	自然環境専攻	気候学・気象学分野	生態学・地球科学
講師	中基 亮介	環境情報学府	自然環境専攻	生態学・生物多様性科学分野	生態学、地球科学、環境学術
教授	吉岡 克成	環境情報学府	情報環境専攻	ネットワークセキュリティ分野	情報学
教授	石崎 由希子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	労働法分野	
教授	内海 朋子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	刑法分野	

4. 国際ガバナンス

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	枕島 洋美	国際社会科学府	国際経済法学専攻	政策決定過程分野	
教授	川端 康之 ◆	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際租税法分野	
教授	笹岡 愛美	国際社会科学府	国際経済法学専攻	商法・海事法・宇宙法分野	
教授	志賀 裕朗	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際行政論と国際開発学分野	
教授	関根 豪政	国際社会科学府	国際経済法学専攻	経済法分野	
准教授	小林 誉明	国際社会科学府	国際経済法学専攻	開発協力政策分野	
講師	藤田 大智	国際社会科学府	国際経済法学専攻	国際法・国際環境法分野	
教授	岡田 哲男	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	船舶海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
教授	村井 基彦	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	海洋工学分野	海洋空間システムデザイン
准教授	大野 直子	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	複合過酷環境耐性材料工学分野	材料科学フロンティア
教授	安本 雅典	環境情報学府	人工環境専攻	イノベーション戦略論分野	安全環境工学、環境学、社会環境
教授	藤掛 洋子	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	国際支援政策、開発人類学分野	地域社会系問題 (人文社会科学分野)
准教授	佐藤 峰	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	途上地域政策、国際開発学、社会人類学分野	地域社会系問題 (人文社会科学分野)

5. 成熟社会

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	相馬 直子 ◆	国際社会科学府	経済学専攻	社会政策学・福祉社会学分野	
教授	石崎 由希子	国際社会科学府	国際経済法学専攻	労働法分野	
教授	板垣 勝彦	国際社会科学府	国際経済法学専攻	行政法分野	
教授	金子 章	国際社会科学府	国際経済法学専攻	刑訴法分野	
教授	芳賀 良	国際社会科学府	国際経済法学専攻	会社法分野	
教授	濱口 太久未	国際社会科学府	国際経済法学専攻	知的財産法分野	
教授	宮澤 俊昭	国際社会科学府	国際経済法学専攻	財産法分野	
教授	渡邊 拓	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民法・契約法分野	
准教授	岡庭 幹司	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民事訴訟法分野	
講師	柳迫 周平	国際社会科学府	国際経済法学専攻	民法・家族法分野	
講師	山本 展彰	国際社会科学府	国際経済法学専攻	法哲学分野	
教授	安藤 孝敏 ◆	環境情報学府	人工環境専攻	社会老年学分野	社会環境
教授	藤岡 泰寛	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築計画, バリアフリー, 持続型集住計画分野	建築系問題
准教授	守田 正志	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	西洋建築史, イスラーム建築史, 都市史	建築系問題

6. 人間力創生

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
准教授	平倉 圭	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	芸術学, 美学, 芸術文化分野	都市文化系問題
教授	池口 明子 ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	人文地理学分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	下城 一 ◆ ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	近現代哲学・現代倫理学分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	新谷 康浩 ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教育社会学 (教育と職業) 分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	高芝 麻子 ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	中国古典文学分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	棚橋 信明 ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	ヨーロッパ近現代史分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	多和田 雅保 ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	日本前近代史分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	藤井 佳世 ★	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教育哲学・人間形成論分野	地域社会系問題 (人間力創生分野)
教授	松本 尚之	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	文化人類学分野	地域社会系問題 (人文社会科学分野)

7. 横浜アーバニスト

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	大野 敏	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	日本建築史, 保存修復分野	建築系問題
教授	藤岡 泰寛	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	建築計画, バリアフリー, 持続型集住計画分野	建築系問題
准教授	稲垣 景子	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市防災計画分野	建築系問題
准教授	野原 卓	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市デザイン, 都市居住環境分野	建築系問題
准教授	志村 真紀 ☆	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	地域・都市デザイン, 建築意匠, まちづくり, デザイン学分野	建築系問題
准教授	守田 正志	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	西洋建築史, イスラーム建築史, 都市史	建築系問題
准教授	矢吹 剣一	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市計画, 都市デザイン, 共創まちづくり分野	建築系問題
准教授	尹 莊植	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	都市計画, まちづくり分野	建築系問題
教授	田名部 元成	国際社会科学府	経営学専攻	シミュレーション&ゲーミング方法論分野	

8. 集積エレクトロニクスと社会展開(令和7年4月開始)

職位	教員氏名	担当する学府	担当する専攻	分野	試験区分
教授	于 強	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	計算力学, 材料力学	機械工学
教授	丸尾 昭二	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	付加製造・微細加工分野	機械工学
准教授	井上 史大	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	デバイスマニファクチュアリング分野	機械工学
准教授	太田 裕貴	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	次世代スマートデバイス分野	機械工学
准教授	瀧脇 大海	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	ロボット工学・精密機械システム分野	機械工学
教授	向井 剛輝	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	光・量子材料工学分野	材料科学フロンティア工学
准教授	大竹 充	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	磁性・スピントロニクス材料分野	材料科学フロンティア工学
教授	片山 郁文	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	テラヘルツ及び超高速分光	物理学
教授	洪 鋒雷	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	超精密分光・量子計測	物理学
准教授	島津 佳弘	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	半導体・超伝導微細デバイス, 超伝導量子効果デバイス	物理学
准教授	田原 弘量	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	レーザー分光, 光電変換, 半導体光物性, 量子物性	物理学
准教授	馬場 基彰	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	光量子物理学理論	物理学
准教授	堀切 智之	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	量子情報, 量子光学	物理学
教授	荒川 太郎	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	半導体, 光エレクトロニクス	電子情報システム
教授	関口 康爾	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	スピントロニクス, マグノニクス, エナジーハーベスティング	電子情報システム

教授	竹村 泰司	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	バイオ医療マグネティックス, 磁気工学	電子情報システム
教授	馬場 俊彦	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	光エレクトロニクス, ナノフォトニクス, 集積フォトニクス, IoT センサ	電子情報システム
教授	吉川 信行	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	集積回路, 電子デバイス, 超伝導エレクトロニクス	電子情報システム
准教授	大矢 剛嗣	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	電子デバイス・電子機器, 電子・電気材料工学	電子情報システム
准教授	西島 喜明	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	プラズモニクス, 光エレクトロニクス, ナノ光センサー, 光熱エネルギー変換	電子情報システム
准教授	水野 洋輔	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	センシングフォトニクス, 光ファイバ工学, 非線形光学, 光エレクトロニクス	電子情報システム
准教授	山梨 裕希	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	電子デバイス・電子機器, 電子・電気材料工学	電子情報システム
教授	真鍋 誠司	国際社会科学府	経営学専攻	イノベーションおよび製品開発論分野	

横浜国立大学大学院 入学検定料支払方法のご案内

横浜国立大学大学院の入学検定料をコンビニエンスストアにて払い込む場合は、下記のコンビニ端末を操作の上、レジにてお支払いください(出願期間1ヶ月前よりお支払いいただけます。)

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>
最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON
Loppi MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>
最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>
最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

横浜国立大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料(5万円未満)1件につき	税込 495円
-------	-------------------	---------



(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

(ファミリーマート)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**取扱明細書兼領収書**」(Loppi)。

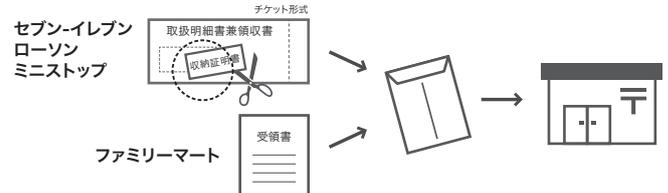


② お支払い後レシート(受領書)をお受け取りください。



「**取扱明細書**」または「**取扱明細書兼領収書**」の場合、「**収納証明書**」部分を切り取り、「**レシート**」の場合、レシートをコピーして本体を入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある期は使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。



3 出願

【入試に関するお問合わせ先】 横浜国立大学大学院 先進実践学環 TEL 045-339-3142

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

Campus Map

キャンパスマップ



事務局

- N1** 1 納品検収センター
- N2** 1 本部東棟 (1階 入試課)
2 本部棟 (1階 授業料等収納窓口)
3 本部西棟
4 事務局車庫
- S1** 1 守衛所
- S5** 1 学生センター

教育学部 / 教育学研究科

- S2** 2 教育学部講義棟7号館
3 教職大学院 / 教育学部附属教育デザインセンター
- S3** 1 教育学部講義棟6号館
2 教育学部第1研究棟
3 教育学系事務棟
[学生窓口] 2階 学務係(学部) / 大学院係(大学院)
- S4** 1 教育学部第2研究棟
2 教育学部別棟
3 教育学部5号館(音楽棟)
4 教育学部4号館(美術棟)
5 教育学部第3研究棟

経済学部

- N4** 1 経済学部1号館 [学生窓口] 1階 経済学務係
2 経済学部講義棟1号館
3 経済学部講義棟2号館
4 経済学部新研究棟

経営学部

- N3** 1 経営学研究棟
3 経営学部講義棟2号館
4 経営学部1号館 [学生窓口] 1階 経営学務係
5 経営学部講義棟1号館

国際社会科学部 / 国際社会科学研究院

- N3** 2 国際社会科学研究棟
4 経営学部1号館 [学生窓口] 1階 大学院学務係
- N4** 5 法学研究棟

理工学部 / 理工学部・工学研究院

- N6** 1 電子情報工学2号棟
2 電子情報工学棟
3 機械変電室
4 機械工学2号棟
5 機械工学・材料棟
6 材料工学実験棟
7 特別高圧実験棟
- N7** 3 低温工学棟
4 エネルギー工学棟
5 理工学系事務棟
[学生窓口] 2階 理工学部教務係 / 理工学府係
- N8** 1 低温工学棟
2 エネルギー工学棟
3 理工学系事務棟
- N10** 1 船舶海洋工学棟
2 大型水櫃実験棟
3 船舶海洋実験棟
- S5** 1 理学研究棟
2 理工学部講義棟A
3 工学基礎研究棟
4 理工学部講義棟A (107)
5 理工学部講義棟B
6 理工学部講義棟C
- S7** 1 大学院工学研究棟
2 生物・電子情報棟

- 学食・カフェ
- 売店(コンビニ)
- ATM
- 学部・大学院学生窓口
- 証明書自動発行機
- AED設置場所
- 駐輪場
- 駐車場
- バス停留所
- 学内バス停留所

- バリアフリートイレ**
MAP上の建物番号の○に、色が塗られている施設に設置
- 例) バリアフリートイレ 有: ① 無: ②

理工学部 / 理工学部・工学研究院

- S7** 6 化学棟
- S9** 1 総合研究棟 W棟

環境情報学部 / 環境情報研究院

- S6** 1 環境情報4号棟
2 環境情報3号棟
- S7** 5 環境情報1号棟 [学生窓口] 2階 環境情報学府係
- S9** 1 総合研究棟 S棟・E棟

都市科学部 / 都市イノベーション学部・都市イノベーション研究院

- N5** 1 建築構造実験棟
2 建築材料・環境実験棟
3 建築学棟
- S2** 1 都市科学部講義棟
- S5** 6 工学基礎研究棟
[学生窓口] 1階 都市科学部学務係 / 都市イノベーション学府係
- S8** 2 土木構造実験棟
3 土木工学棟
4 水理実験棟

先進実践学環

- S5** 1 学生センター [学生窓口] 3階 先進実践学環係

全学教育研究施設等

- N2** 5 ダイバーシティ戦略推進本部・男女共同参画部門、成長戦略教育研究センター、D&I教育実践センター
- N4** 1 地域実践教育研究センター
- N7** 2 全学共用棟B
3 グリーン水素研究棟
4 全学共用棟A
- N8** 2 機器分析評価センター
- N9** 2 研究推進機構
- S1** 2 教育文化ホール
3 国際教育センター
- S5** 2 情報基盤センター別館(MDA教室)、教育推進機構
3 リスク共生社会創造センター
4 情報基盤センター(MDA教室)
- S6** 2 全学共用棟D
3 全学共用棟C
- S7** 4 高等研究院棟、リスク共生社会創造センター、先進化学エネルギー研究センター、量子情報研究センター、台風科学技術研究センター、豊穡な社会研究センター、次世代ヘルステクノロジー研究センター、半導体・量子集積エレクトロニクス研究センター
- S8** 1 RI教育研究施設
- S9** 1 産学官連携研究施設

附属図書館

- S3** 6 中央図書館
- S7** 3 理工学系研究図書館

管理施設

- N7** 1 エネルギーセンター
- N9** 1 排水浄化センター

厚生施設

- N10** 4 Sガーデン(コンビニエンスストア)
5 第2食堂・大学生協
- S1** 4 第1食堂(シェルス)
5 大会館・大学生協本部

運動・課外活動施設

- S0** 1 体育サークル会館
2 運動場管理棟
- S1** 6 文化サークル共用施設
7 体育館・武道館
8 弓道場射場

メインストリートを境に北側をNエリア
南側をSエリアと表しています。

